

1 趣 旨

教職をめざしている大学生・社会人が、実際の授業で役立つ指導法や、学級経営の基本を学ぶことで、将来の教員としての資質を高める。

2 ねらい

- (1) 実際の授業で役立つ指導法を学び、授業力を高める。
- (2) さまざまな事例から学級経営の基本を学び、児童生徒への対応力を高める。
- (3) 学校現場で求められる若い教員像を学び、教員としての心構えを知る。

3 日 程

- (1) 期 日 令和2年2月22日（土）～2月24日（月）
- (2) 参 加 者 47名
- (3) 対 象 教員をめざす大学生・社会人

1 日目 (2/22)	○「志願票、志望動機、自己PRの書き方」 講師：富山大学 名誉教授 松本 謙一 ○「個人面接対策」 講師：富山大学 名誉教授 松本 謙一 ○「集団討論・場面指導」 講師：富山大学 名誉教授 松本 謙一
2 日目 (2/23)	○「模擬授業対策①」 講師：富山大学 名誉教授 松本 謙一 ○「合格者に学ぶ教員採用対策」 講師：前年度参加者（合格者） ○「教育法規の要点」 講師：福井大学 准教授 大和 真希子 ○「学校管理について・教員を目指す心構え」 講師：金沢大学 特任教授 野村 豊 ○「模擬授業対策②」 講師：富山大学 名誉教授 松本 謙一
3 日目 (2/24)	○「模擬授業対策③」 講師：富山大学 名誉教授 松本 謙一 ○「自然体験活動：野外炊飯（焼肉・焼きそば）」 指導：交流の家職員

4 成果と課題

(1) アンケートによる事業評価

事業全体の満足度について、参加者から「満足」78.7%、「やや満足」21.3%の評価を得ることができた。

【参加者の記述より】

- ・志願票の書き方を初めて知り、よい機会を得ることができた。志望動機や自己PRでは、改めて自分と向き合い、内容を吟味していく必要があると感じた。
- ・富山型の模擬授業を一人でつくるかと思うと不安でしたが、グループの仲間と一緒に考え、一つの授業がだんだんよりよいものになっていくという充実感を得ることができた。授業の技術はもちろんです、教員になってからも大切なことを学ぶことができた。
- ・一番来てよかったと感じた点は、他大学の方々と出会うことができたことである。多くの出会いに恵まれ、自分もより一層頑張らなければいけないと思った。

- ・今後役に立つことばかりだったので良かった。後輩にもぜひ勧めたいと思った。
- ・教育法規の講義では、法規を学ぶ理由が自分なりに整理・理解することができ、有意義な時間を過ごすことができた。
- ・教育法規の講座が一番印象に残っている。大学では「ここ頻出だよ」とあまり教えてくれることがないので、傾向や頻出問題を知ることができて良かった。また、時事問題（新型コロナウイルス等の感染症関連法規）が出る可能性があることが分かったので、今後ニュースや新聞に注目したい。
- ・児童生徒が求めている教師像、保護者が求めている教師像がそれぞれ違ったことに驚いた。人間性を高め、授業がうまくなるように努めたい。
- ・リスクマネジメントという視点で教育に携わることが大切だと感じた。児童生徒の安全をしっかりと守ることができる先生になりたい。
- ・礼儀作法を丁寧に教えていただいた。教員である前に、社会人としての立ち居振る舞いを身に付けておくことの重要性が分かった。

（２）成果と課題

《成果》

- ・個人面接，集団討論，模擬授業では，参加者同士で意見を出し合うことで，仲間と高め合いながら取り組むことができた。また，頻繁にグループを分けて実施することで，多くの仲間と交流し，情報交換する機会を得ることができた。
- ・志願票の書き方や，筆記試験の学習の仕方などを大学講師や，教員採用試験に合格した先輩から学ぶ機会を提供できた。
- ・教員採用試験の約半年前にこの合宿を開催したことで，参加者にとっては，本格的な試験対策を始めるよいきっかけとなり，教員を目指すためのよい刺激となった。

《課題》

- ・今回は１回だけの開催としたが，参加者が思うように集まらなかった。来年度は，石川県内の大学を積極的に訪問するなどして広報活動に力を入れる必要がある。
- ・参加者から「都道府県によって試験内容が違うので，模擬授業や集団面接の時間で戸惑った」という意見があった。来年度は模擬授業の時間や内容，面接官からの質問の傾向など、教員採用試験の実施要項には示されていない細かな情報を収集し，事業の内容に反映する必要がある。



「志願票，志望動機，自己PRの書き方」



「個人面接対策」



「集団討論」



「合格者に学ぶ教員採用対策」



「教育法規の要点」



「模擬授業対策」